

大学周辺整備 ～キャンパスロード～

C a m p u s R o a d

このプロジェクトは、三重大学や地域の顔となる「キャンパスロード」の整備と大学周辺景観の整備を目的として、2006年に国土交通省、三重県、津市、近畿日本鉄道、三重大学で三重大学周辺幹線道路景観検討委員会を立ち上げて、長い年月をかけて協議を重ねながら、国道23号の自転車レーン整備や江戸橋駅前の市道の拡幅などを行い、二級河川志登茂川河川改修(市道江戸橋)工事が完成し、2019年5月30日に全面開通しました。



江戸橋の
架け替え工事が
終わるまで



全面開通！！

親柱に書かれた石の文字

この文字は、前葉泰幸津市長と北立誠小学校の生徒さんが書かれた文字を元に彫られました。



市長が書かれた文字



北立誠小学校の生徒さんが書いた文字



B 江戸橋ゾーン



- 洪水に備えて川幅を広げ、橋の長さを伸ばしました。
- 歩道・自転車道・車道を整備し、誘導看板を設置しました。
- おしゃれな街路灯を設置しました。



江戸橋にあるモニュメント(参勤交代)

江戸橋は、江戸時代に架橋され、津藩主・藤堂氏の参勤交代時に橋の傍まで見送りに来たことが橋の名の由来とされています。

おしゃれな街路灯

江戸橋の歴史的な景観を考へて、参勤交代時に持っていた灯籠をモデルとしたおしゃれな街路灯が設置されました。この街路灯は暗くなると自動的に点灯するようになっています。

A 駅前ゾーン



江戸橋駅周辺のより良い駐車環境を確保するため、自転車駐輪場を整備しました。

江戸橋駅前の市道



駅前ゾーン

(担当：津市)

江戸橋ゾーン

(担当：河川(三重県)市道(津市))

江戸橋は下り坂になってて自転車はスピードが出やすいから気をつけてね

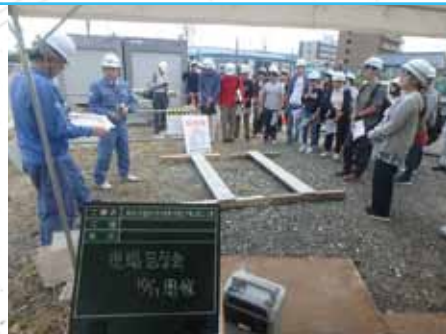
江戸橋は朝と夕方で雰囲気が違う？！



棒がねじれていることで、朝と夕方では光の加減や影が異なり、雰囲気が変わって見えます。朝、江戸橋駅から三重大学へ歩く時は明るく楽しい感じに見え、夕方帰る時には落ち着いた雰囲気を感じるようになっています。

工事中の現場見学会の様子

江戸橋の撤去工事中、三重大学生物資源学研究科共生環境学専攻や工学研究科建築学専攻の学生、北立誠小学校の生徒を対象とした現場見学会が開催されました。



撤去作業の様子を見学できる貴重な機会だったよ



対策前

国道ゾーン



●自転車レーンを新たに設けるとともに歩道レーンと自転車レーンを色分けし、道幅を確保しました。

国道ゾーン

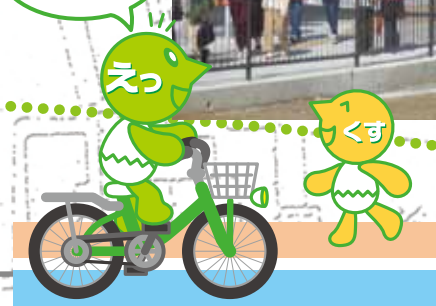
(担当：国土交通省)

交通安全指導

三重大学では、本学学生の交通事故防止と交通マナーのさらなる向上を目的として、江戸橋の前後や、江戸橋北詰・病院前・三重大学前の各交差点付近において半期に一度、交通安全指導を実施しています。新しくなったキャンパスロードにおいても実施しており、学生総合支援センターの教員、学務部職員、学生ボランティアらが指導に参加しています。



自転車は自転車レーンを走ってね



くす

安全に長く使用できるキャンパスロードに

三重大学
施設部施設管理チーム
課長 橋本 健



今回の整備によって、新しくなったキャンパスロードでは特に安全面が格段に良くなっています。整備前の江戸橋や国道23号沿いでは、歩行者と自転車車が狭い歩道を同時に通行したり、自転車が車道を走らざるをえない状況でした。整備によって、江戸橋は車と歩行者・自転車の通行帯が分離され、国道沿いは道路幅が大幅に拡充されるなど、とても安全に通行できるようになりました。公共の場でもあるので、三重大生には、ルールを守って大事に利用して欲しいと思います。

また、今回の整備に携わって頂いた国土交通省・三重県・津市の方々には感謝申し上げます。

譲り合いの気持ちを持って、より良いキャンパスロードに

三重大学
学生生活支援室長
大学院生物資源学研究科
准教授 名田 和義



学生生活支援室では、三重大生に向けて交通安全の意識を高める啓発活動を行っています。今回のキャンパスロードの整備によって、整備前に比べて歩行者・自転車ともに安全に通行できるようになりました。ただ、江戸橋の下り坂などの自転車のスピードが出やすくなった箇所もあるので、無理のない通行を心がけてください。

キレイになったキャンパスロードをより良い環境にするには、利用する学生の皆さんのモラルが大切です。歩いて通行する時も、自転車で行く時もお互いに譲り合う気持ちを大切に、交通ルールを守って気持ちの良い通学路にしていきたいです。



●バス待合所のスペースを確保しました。

今回の事業に携わった方々

国土交通省

○苦労したこと

みなさんのためによりよい道を整備するため、三重県や津市、警察の方々など他機関とさまざまな形で何度も協議を行いました。地元関係者や沿線のお店の方との調整や、近隣の小学校の通学路の調整に苦労しました。また、歩行者レーンと自転車レーンの幅を増やす際に、通行量が多い道路なので、夜間に工事を行わなければならなかったことも苦労した点です。

○完成後の喜び

完成後に、三重大生や歩行者、自転車の利用者に向けてアンケートを実施したところ、安全・快適であると回答していただいた方の割合が80%を超えており、とても嬉しく思いました。地域の方に喜んでもらえる、それが励みとなり、よりよいものをつくろうという思いが強くなります。

○三重大生へ向けて

歩道は誰もが使う道であり、近くには病院やお店があり、小さい子どもも使う道なので、譲り合ってマナーを守りながら使ってほしいと思います。三重大生は自転車の利用者が多いので、江戸橋周辺だけでなく、大門など津市の様々な所に行ってもらって地域の活性化につなげてほしいと思います。



今回の事業に携わった方々

三重県

○苦労したこと

苦労したことは4つあります。1つ目は工事期間中の歩行者・自転車の安全な誘導。2つ目は津市、警察、水道、電気などの関係機関との調整。3つ目は、橋の工事の際、川の中に鋼矢板を打ち込む作業が思うように進まなかったこと。4つ目は、近隣の小学校や三重大、自治会への工事の説明です。

○完成後の喜び

江戸橋の歩道・自転車道が開通した時がちょうど春休みで、子どもと親御さんが一緒に橋を渡っている姿を見て嬉しくなりました。また、工事中は迂回路を通ってもらっていたため、歩道が開通した時に三重大生から「江戸橋駅までの道が近くなりました。ありがとうございます。」と声をかけてもらえたことも嬉しかったです。

○三重大生へ向けて

歩道と自転車のレーンをきちんと守ってもらえていて、とてもありがたいです。ただ、橋の下り道でスピードが出ている自転車の学生を見かけることもあるので、注意してほしいと思います。



今回の事業に携わった方々

津市

○苦労したこと

昼間は人通りが多いため、夜間に作業をしなければならないことが苦労した点です。

○完成後の喜び

喜んで橋を通っている姿を見て、良かったと思いました。また、3か所の親柱の文字は北立誠小学校の生徒さんが書いた文字を元に彫られているので、その文字の前で生徒さんと親御さんが写真を撮っている姿を見て嬉しく思いました。

○三重大生へ向けて

今までマナーが悪いという声はあまり聞いていないので、安全に通行してもらっている印象があります。これからもマナーを守って通行してほしいと思います。



長期間に渡る事業を経て

三重大学大学院工学研究科
准教授 浅野 聡



今回の事業の特徴は、施設管理者が多岐にわたっている区間であり、国、三重県、津市の協議が必要であったことです。一般的には、施設管理者の異なる公共施設を同時期に一体的に整備することは難しく、そのため、この事業も約14年もの長期間に渡ることとなりました。行政担当者は、定期的に異動されるため、最初から委員会の会議に出席しているメンバーは、私だけとなりました。長期間に渡る関係者のご協力に、改めてお礼を申し上げます。まだまだ一部未整備区間が残っていますが、津市のご協力のもと、一日も早く完成することを願っています。

大勢の人たちのあかて完成したんだね



マナーを守って使おうね

